

滝川ダム

潤いのある生活を実現し、明日を拓く。
それが滝川ダムの使命です。





伊賀建設事務所



合楽橋水位観測局



基準点(合楽橋)

木津川合流点

領主谷川

比自岐川

流域図

市



浄水場



滝川ダム



滝川ダム管理事務所

高区配水池

低区配水池

湛水面積=0.04km²

滝川CA=1.6km²

- 凡 例
- ダムサイト
 - 集水地区
 - 洪水氾濫防止区域
 - 不特定用水供給区域
 - 簡易水道区域
 - 主要送配水管



滝川ダムについて

滝川ダムは淀川水系木津川支川比自岐川小支川滝川の伊賀市高山地内に建設された重力式コンクリートダムです。洪水調節・既得取水の安定化、河川環境の保全及び比自岐・高山地区簡易水道へ安定的に水を供給しています。

● 洪水調節

ダム地点の計画洪水流量 $20\text{m}^3/\text{s}$ のうち $12\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い、比自岐川沿川地域の水害を防ぎます。

● 水道用水の確保

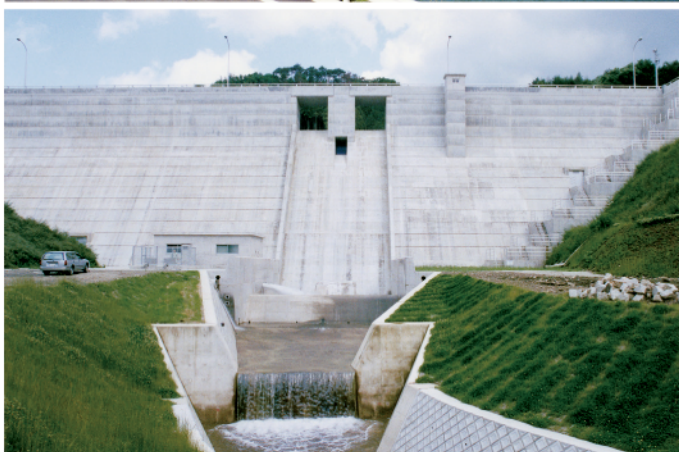
伊賀市比自岐、摺見、高山地区の水需要に対処するため、 $18,000\text{m}^3$ の容量を確保し、1日当り 500m^3 の水を供給します。

● 既得取水の安定化

ダム地点下流の比自岐川沿川農地の既得取水の安定化を図ります。

● 河川環境の保全

ダム地点下流の比自岐川に生息する動植物の保全や流水の清潔の保持を図ります。



総事業費

70.3億円

建設年次

平成2年度（着手）
～平成12年度（完成）

ダ ム

位 置	三重県伊賀市高山 2343
名 称	滝川ダム
型 式	重力式コンクリートダム
堤 高	29.8 m
堤 長	120.0 m
堤 体 積	$30,000\text{m}^3$
堤項標高	284.8 m
基礎地盤	255.0 m

貯 水 池

流 域 面 積	1.6 km^2
湛 水 面 積	0.04 km^2
総貯水容量	$282,000\text{m}^3$
洪水調節容量	$110,000\text{m}^3$
利水容量	$120,000\text{m}^3$
堆砂容量	$52,000\text{m}^3$



(堤外バルブ室)



(堤内バルブ室)

放流設備

■ 常用洪水吐き

型式	オリフィス型
調節方式	自然調節
条数	1条
規模	高 1.50 m × 幅 1.60 m

■ 非常用洪水吐き

型式	自由越流型
門数	2門
規模	高 2.50 m × 幅 4.20 m

■ 取水設備

型式	多管式選択取水設備
孔数	4孔
規模	Φ 600 mm × 1 Φ 300 mm × 3

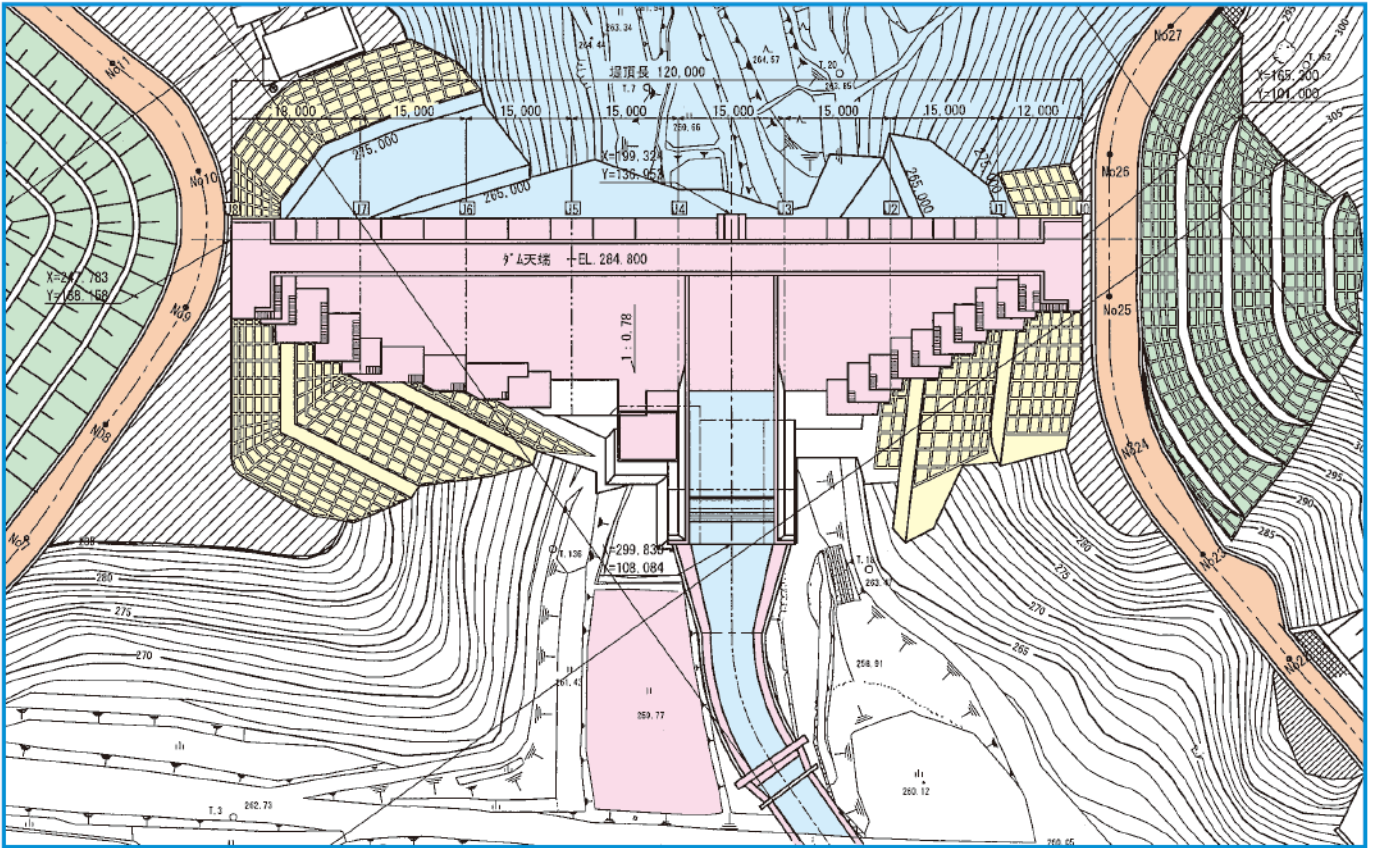
■ 利水・上水道用放流設備

型式	ジェットフローゲート ・スルースバルブ
規模	Φ 100 mm × 2 Φ 100 mm × 2

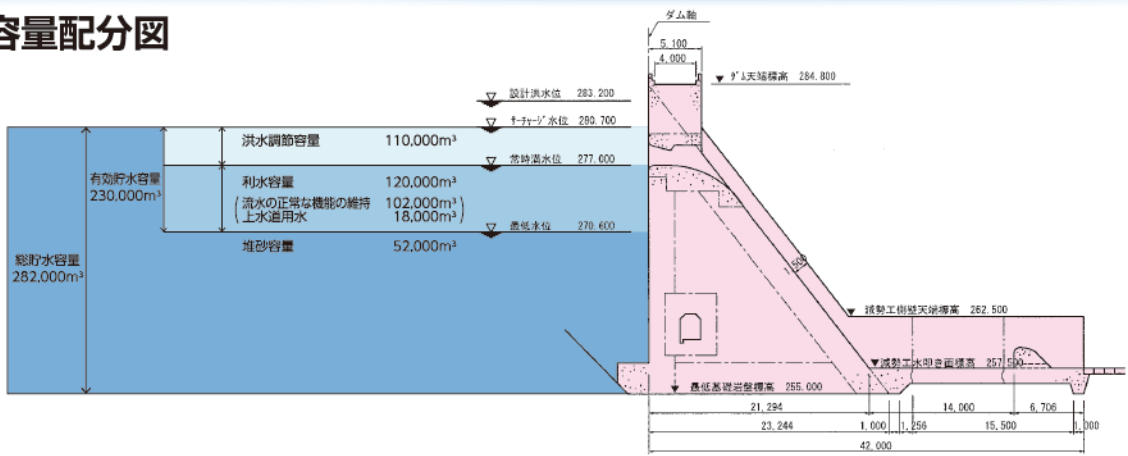
■ 水位低下用放流設備

型式	ジェットフローゲート ・スルースバルブ
規模	Φ 250 mm × 1 Φ 250 mm × 1

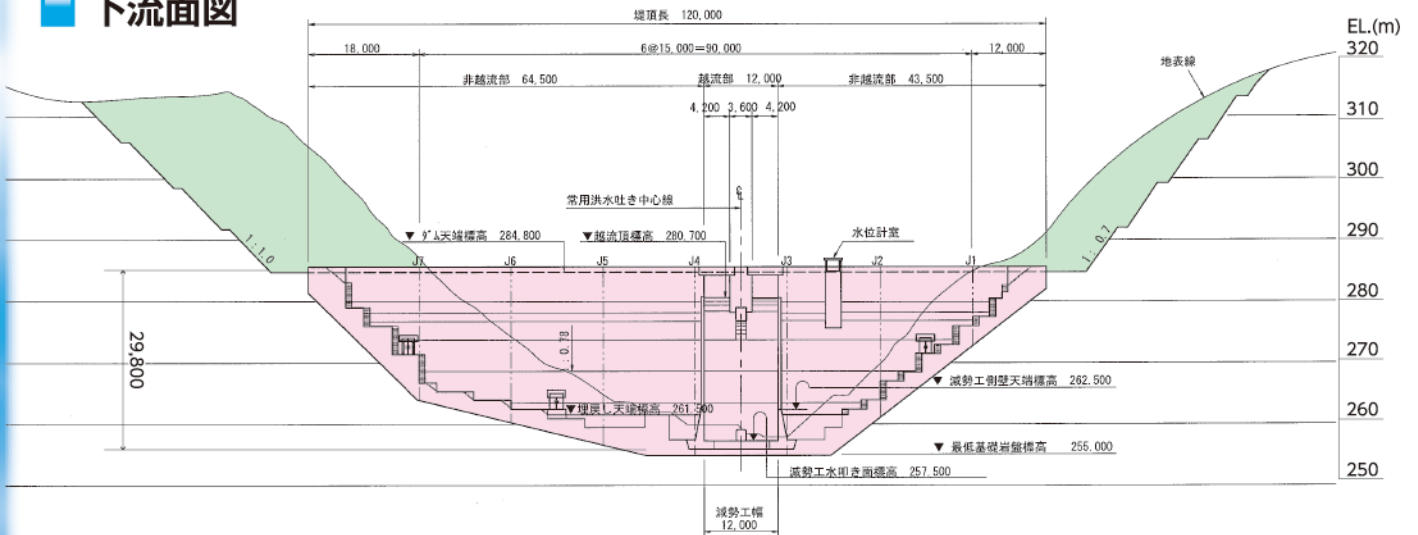
ダム平面図



貯水池容量配分図

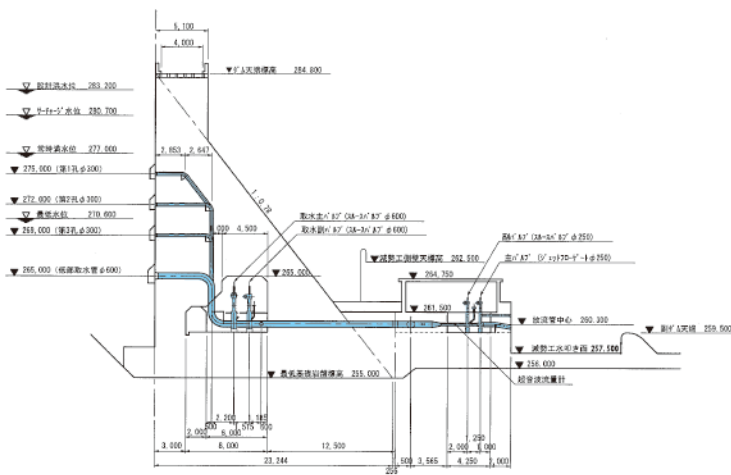


下流面図

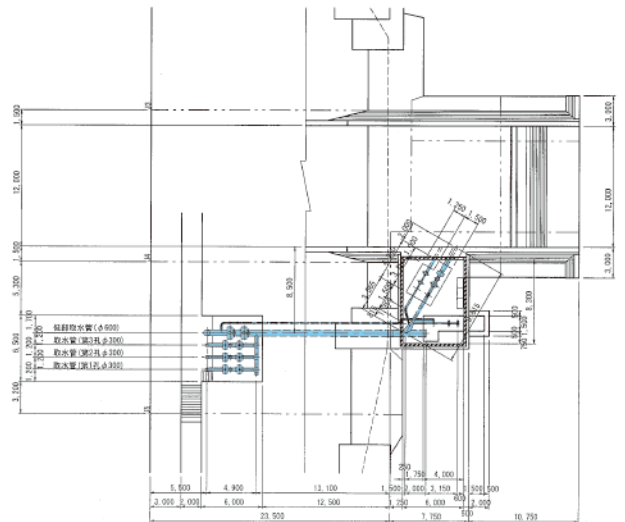


取水・放流設備全体図（多管式選択取水設備）

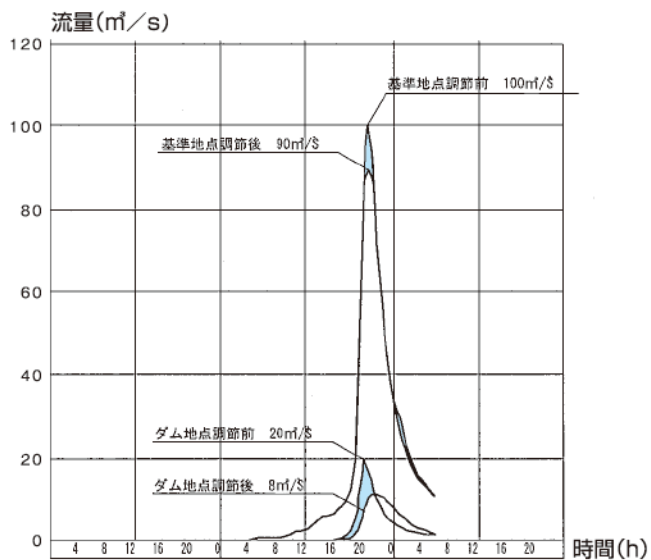
縦断面図



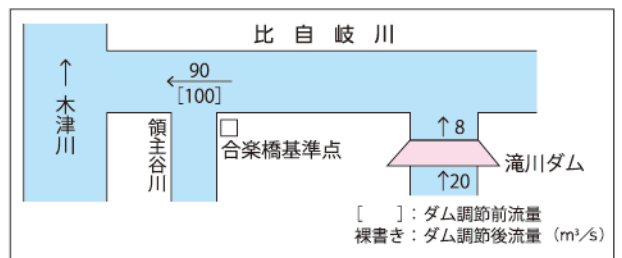
平面図



洪水調節図



計画高水流量配分図



計画規模	基本高水のピーク流量	
	ダムサイト	基準点(合楽橋)
1/50	20m³/s	100(90)m³/s



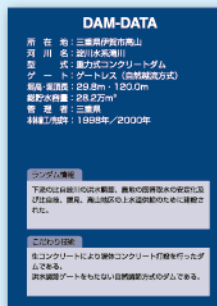
交通のご案内



大阪から …………… 約110分
名古屋から …………… 約110分

名阪国道、友生ICを下りて県道上野大山田線を東に約7km進み、その後右折し伊賀コリドールロードを南へ進むと滝川ダムの道路案内板が見えますので、左折してください。

ダムカード



下記の伊賀建設事務所総務・管理室 管理課で配布しておりますので、こちらまでお越しください。

※休日、夜間は守衛室(伊賀庁舎1階裏口 TEL:0595-24-8012)で配布しています。

お問い合わせ先

三重県伊賀建設事務所 (伊賀庁舎6階)

〒518-8533 伊賀市四十九町 2802
TEL : 0595-24-8208
FAX : 0595-24-8241
E-mail : gkenset@pref.mie.jp

